

(2) 市民福祉委員会

○ 視察日程

令和5年8月8日(火)～10日(木)

○ 視察先・視察事項

① 奈良県宇陀市

・宇陀市移動診療車について

② 奈良県橿原市

・子ども総合支援センター事業について
(発達障がい児に係る支援の拠点施設)

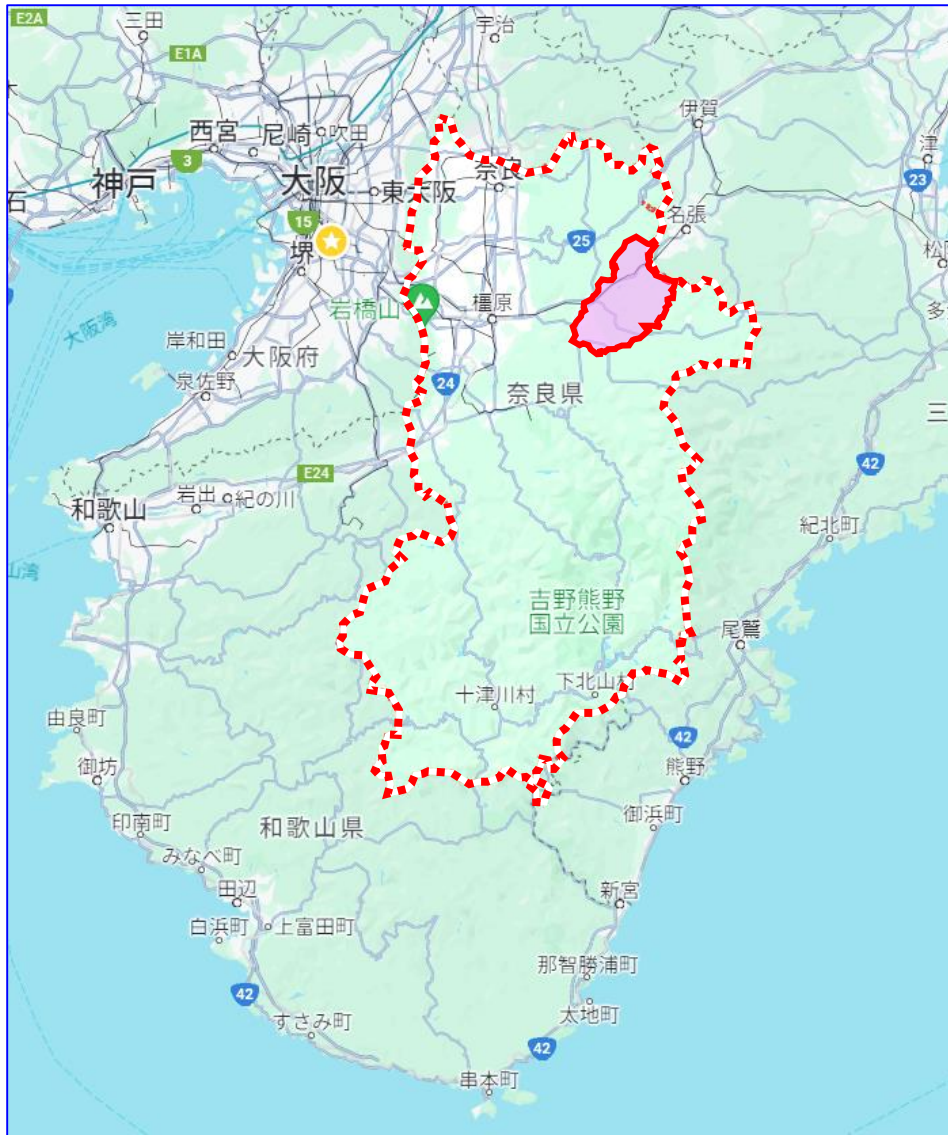
③ 滋賀県野洲市

・生活困窮者支援事業について

④ 兵庫県宝塚市

・高齢者向け健康・生きがい就労の取組について

奈良県宇陀市 移動診療車の導入



視察先
日時

奈良県宇陀市
令和5年8月9日

宇陀市概要	(小諸市)
・人口	27,400人 (41,500人)
・高齢化率	43.6% (34.1%)
・標高	309m (680m)
・年平均気温	13.2℃ (10.7℃)
・平均降水量	1,555mm (794mm)

※ データ引用元は様々なので参考値

目的

- ・ 移動診療車 (UMC) について学ぶ
- ・ 移動診療の実状を確認する

結果

- ・ 目的は達成した
- ・ 小諸市の将来の検討課題となった
- ・ 全国の過疎地域の課題と理解した
- ・ ただし導入には、条件整備がかなり重要と思われる

宇陀市移動診療車（UdaMobile Clinic）について

ベース車両

- ・日野レンジャー 8 t
- ・ワイドキャブ・ディーゼル
- ・排気量 5,120 c c
- ・サイズ 9.6m × 2.5m × 3.7m

オリジナル仕様

- ・後扉大型リフター
- ・大型バッテリー搭載
(医療機器・リフター等起動用)
- ・ステップ・テント



導入費用

- ・初期導入費用 9,160万円
- ・維持管理費 約2,200万円／年

稼働時の要員

- ・医師 1名
- ・看護師 2名
- ・事務員 2名
- ・運転手 1名

搭載医療機器

- ・エコー診断機
- ・モニター付き A E D
- ・X線撮影機器
- ・血液尿検査機器
- ・体組成計

宇陀市移動診療車（UMC）の運用方法



移動診療車 U M C 巡回日程

	月	火	水	木	金	土	日
人権センター		○	○				
田原集会所					○		



宇陀市立病院

大宇陀人権センター

辻村病院

田原集会所

週 3 回、医療過疎地区を回り、
 「一般内科診療」
 「創傷医療」
 「特定検診」
 「ワクチン接種」
 「薬の配達」
 などを行う

なぜ宇陀市移動診療（UMC）導入が可能だったのか

原因系要素

開業医が次々に閉院し、医療過疎地域が出てきた

医療従事者も同様に減っていき、医療サービスの継続が困難

災害時の対応が可能

ワクチン接種も可能

新たな医療過疎地域にも対応が可能になる

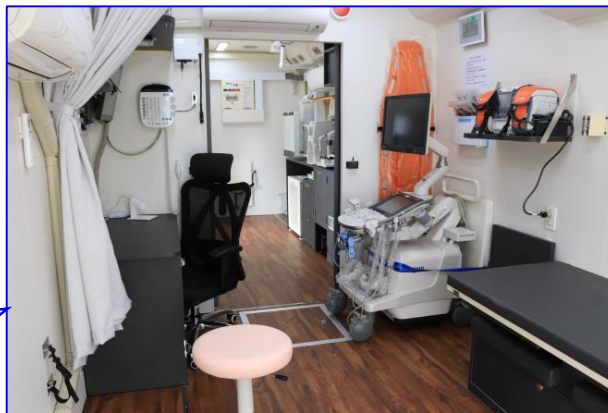
薬も配達してもらえることで中心市街地や大きな病院へ行かなくてもよくなる

費用系要素

初期費用
「UMC投資+維持費」
< 「診療所2棟新設」

- ・ふるさと納税 500万円
- ・合併特例債 8,230万円
- ・一般財源 437万円

UMC診療室



医療系要員 ①
市立病院の人事権・予算執行権があり、医療系要員の配置が可能

医療系要員 ②
奈良県立医大と人的交流があり、医師の派遣が容易

小諸市では、高齢者等の交通弱者を愛のりくんで医療機関に行ってもらうことを基本としている。しかし将来もし開業医が激減するような場合は、医療センターと組んでUMCのような移動診療車を考えなければいけない時が来るかもしれない。

☆視察日時 令和5年8月9日（水）

☆視察事項 発達障がい児に係る支援の拠点施設について

☆小諸市の課題

- ・発達障がいは、いわゆる障害ではなく総称である。
見た目にはわかりにくいという特徴があるが、子どもたちの生きにくさという視点からの取組が必要と思われる。
- ・小諸市の保育園、学校などにおいても、近年発達障がいへの理解と対応は急速に進みつつあるが、まだまだ発達障がい児及びその家族に対する、社会の理解やサポート体制は不足していると思われる。



☆視察目的

- ・ 橿原市の子ども総合支援センターは、機能訓練室、感覚統合訓練室、言語訓練室、などを有するためこれを確認する。
- ・ 小諸市においても、インクルーシブ教育の更なる理解と進展を図るとともに、あわせてこうした専門的な支援施設の充実も視野に入れるべきである。

☆視察先の概要

- ・ 平成26年4月に白橿南小学校の北館校舎を改装して開所
- ・ 総事業費 約283百万円
- ・ 職員はセンター長1名 1課2係
(子ども発達支援課、療育支援係、特別支援教育係)
理学療法士、作業療法士、臨床心理士、言語聴覚士、保育士、看護師などの有資格者を含め
38人の体制
- ・ 正規職員21名、任期付き5名、会計年度職員17名。



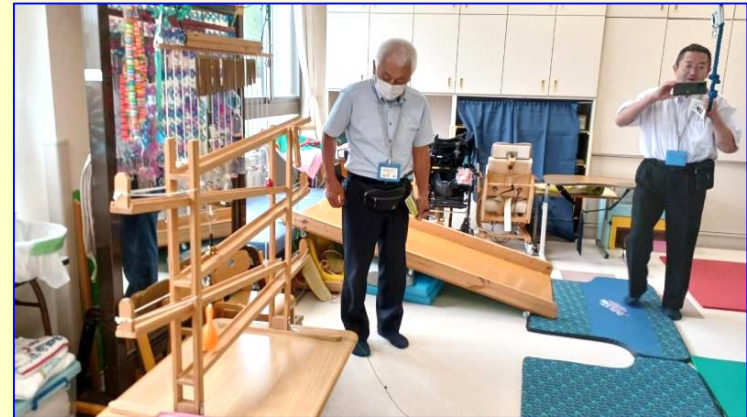
☆視察先の取組

- ・昭和50年より「心身障害児訓練施設かしの木園」が支援を要する子どもたちの療育を重ねてきており、開設以来、療育支援係（かしの木園）として個別療育をしている。
- ・集団療育は1～3歳児と4～5歳児に分かれている。
当日は月1回の音楽療法の日であり見学をする。
- ・就学後相談60件、電話来所相談175件、
小中学校等の巡回訪問124件。
奈良県立医科大学の医師への相談35件。
保護者や他学校の相談も受けており、
相談体制が充実している。
- ・保育園、幼稚園、小中学校の教員を
対象とした研修会を実施、当日も
研修会が開催されていた。
- ・センター内には機能訓練が行える
設備があり、職員の手作りで工夫
した遊具等があり楽しく訓練できる
ようになっていた。



☆参考になった事項・提案等

- ・小諸市では奈良県立医科大学のような機関が近隣にないことや、専門職員を確保することは難しいので、専門的・個別的な相談対応のさらなる充実を求めたい。
- ・学校再編で廃校となる、学校跡地の利用の活用はどうか。
- ・小諸市単独でこのような施設の維持運営は困難だが、佐久広域で検討するべきではないか。
- ・橿原市は、かしの木園が長くにわたり地域密着型の療育支援をしており、かしの木園の経験値は大きい。
- ・小諸市は現存する施設に児童発達支援事業の拡大ができないか検討して欲しい。
- ・子ども育成課に総合相談窓口を置くのはどうか。
気軽に利用できる「こもロッジ」に発達相談窓口を置くことはどうか。
- ・常勤の心理相談員の増員を提案したい。



令和5年度 市民生活相談課業務概要資料



野洲市観光PRキャラクター
ドウタク くん

滋賀県野洲(やす)市
市民部
市民生活相談課
消費生活センター



野洲市くらし支えあい条例 (生活困窮者支援編)

(支援の方法)

第24条

市は、生活困窮者等を発見したときは、その者の生活上の諸課題の解決及び生活再建を図るため、その者又は他の者からの相談に応じ、これらの者に対し、**必要な情報の提供、助言その他の支援を行うものとする。**

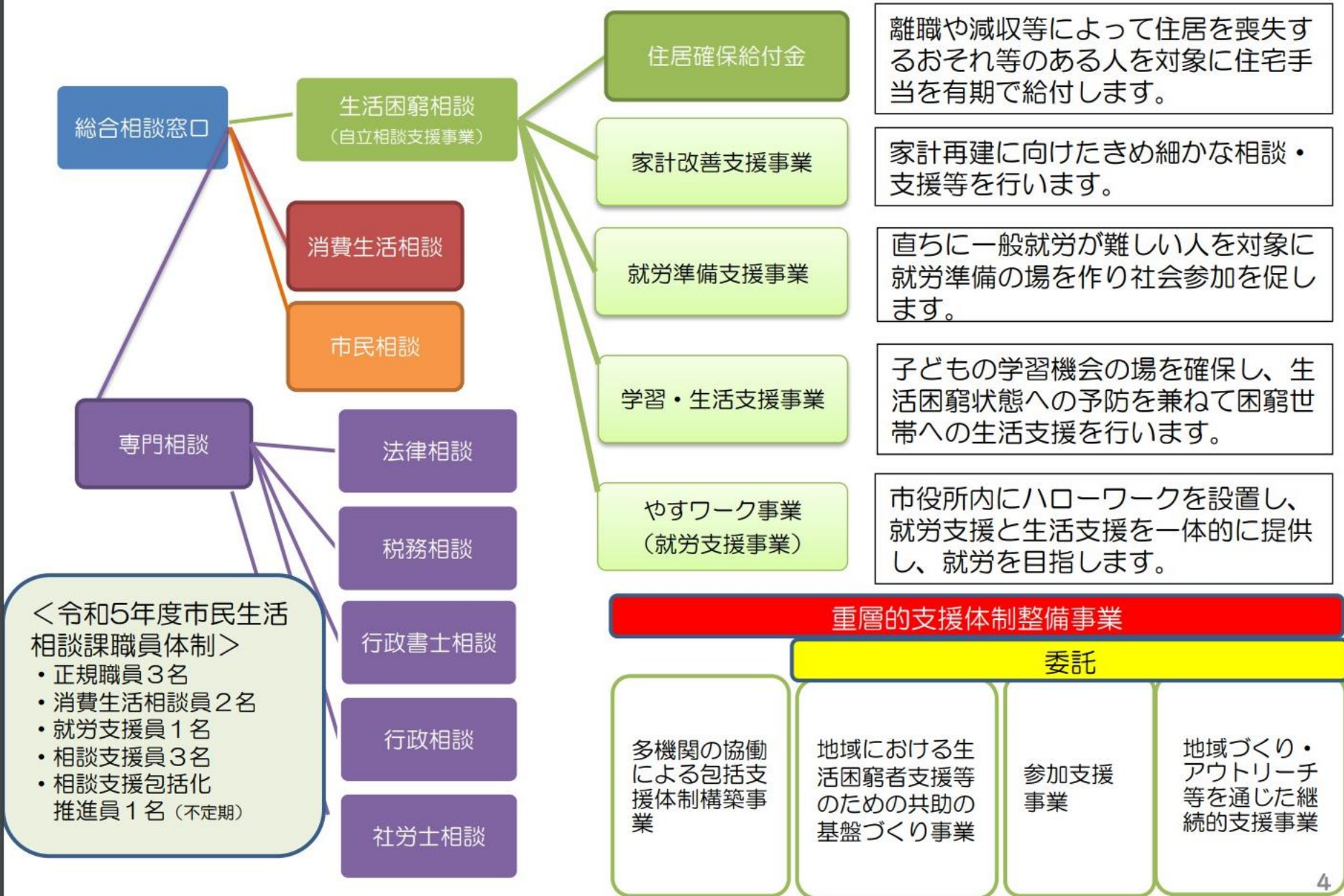
2 市は、生活困窮者等のために**生活上の諸課題の解決も図るものとする。**

3 市長は、生活困窮者等に公租公課の滞納があったときは、迅速かつ的確に**野洲市債権管理条例**による措置を講じ、その者の生活の安心の確保に努めるものとする。

野洲市役所本館1階の見取図



令和5年度 市民生活相談課の業務・体制



離職や減収等によって住居を喪失するおそれ等のある人を対象に住宅手当を有期で給付します。

家計再建に向けたきめ細かな相談・支援等を行います。

直ちに一般就労が難しい人を対象に就労準備の場を作り社会参加を促します。

子どもの学習機会の場を確保し、生活困窮状態への予防を兼ねて困窮世帯への生活支援を行います。

市役所内にハローワークを設置し、就労支援と生活支援を一体的に提供し、就労を目指します。

重層的支援体制整備事業

委託

多機関の協働による包括支援体制構築事業

地域における生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業

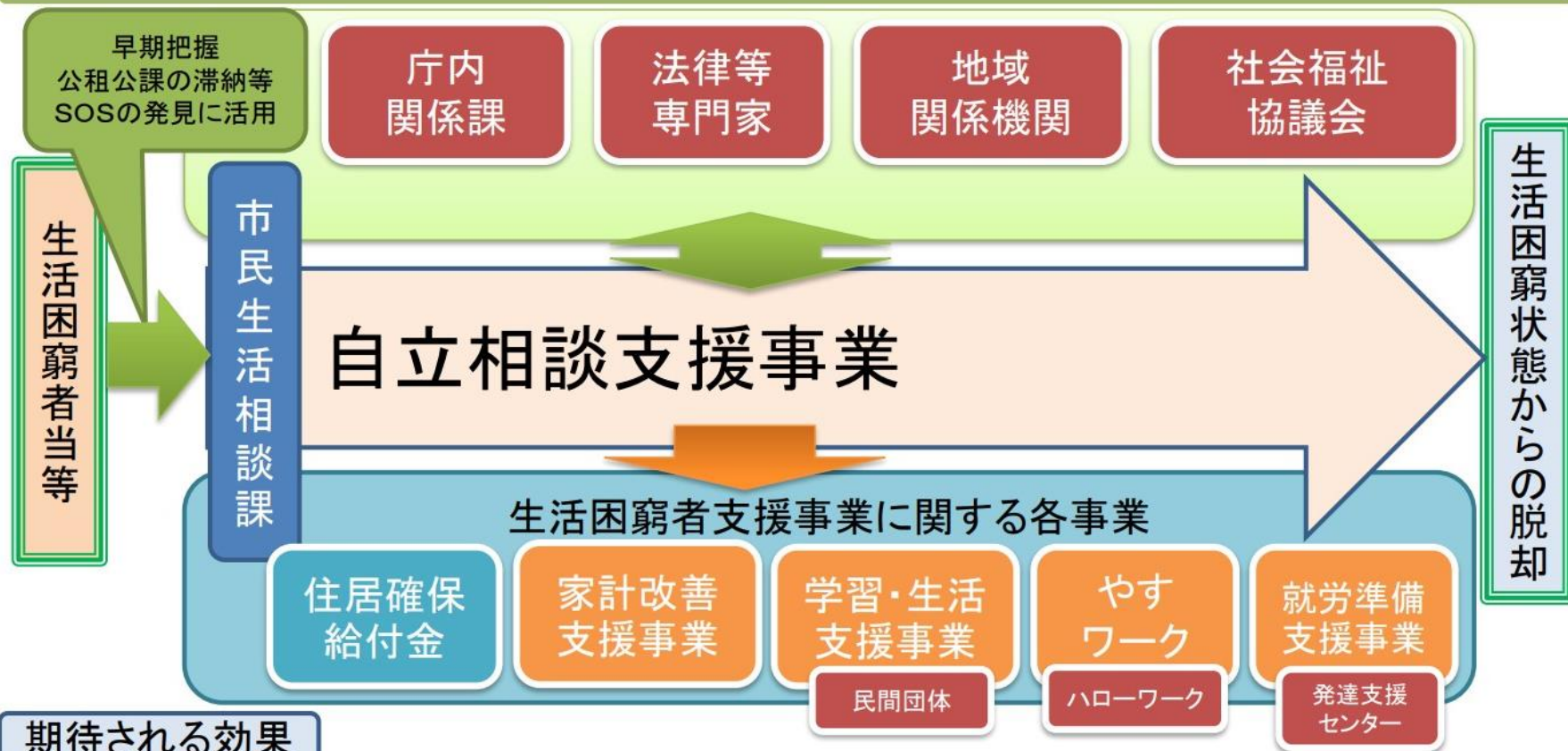
参加支援事業

地域づくり・アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

令和5年度 野洲市生活困窮者自立相談支援事業について

事業の概要

- 野洲市くらし支えあい条例に位置付けられた、経済的困窮、地域社会からの孤立その他の生活上の諸課題を抱える市民を生活困窮者等として対象にとらえ、条例を効果的に活用し、相談者の発見から支援を効果的に取り組みます。
- 就労等による社会参加に向けて、生活支援と就労支援を一体的に提供するやすワークの活用を推進します。



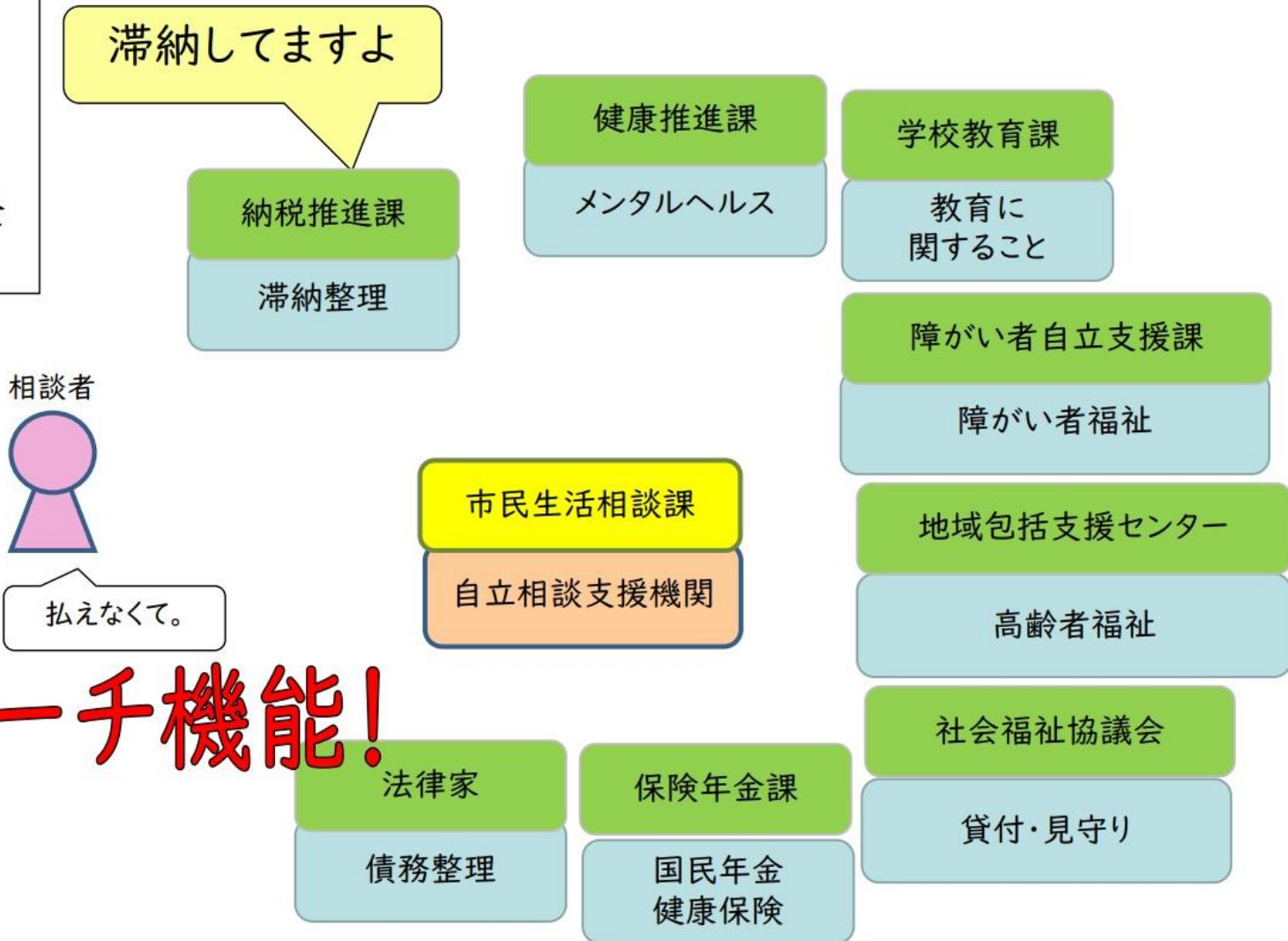
期待される効果

- 生活困窮状態に至る前段階から早期の支援を行うことにより、生活困窮状態からの早期脱却を図ることができます。
- 生活困窮者に対し「支援を届ける」ことで、相談支援機能が強化され市民の安全・安心な暮らしを守ることができます。

断らない相談体制①

～相談者を発見する仕組み～

- ・離婚
- ・子どもに障がい
- ・不登校
- ・母が認知症
- ・自分がうつ病
- ・悪質商法／借金
- ・税金滞納



アウトリーチ機能!

断らない相談体制② ～支援をつなぎ合わせる～



コンシェルジュ機能!

やすワークとは・・・

「野洲市と滋賀労働局が生活困窮者等を対象とした就労支援事業を一体的に実施するための協定（平成25年）」に基づき就労支援と生活支援を一体的に実施するために野洲市役所内に設置している施設



福祉の総合デパート

市役所



介護



就労

さまざまな情報をつなぎ合わせることで支援につなげていく



健康



障がい



教育



保育

兵庫県宝塚市 高齢者向け健康・生きがい就労の取組について

宝塚市概要	(小諸市)
・人口	222,672人 (41,500人)
・高齢化率	28.6% (34.1%)
・要介護認定率	21.1% (13.3%)
・標高 (宝塚駅)	58.4m (680m)
・年平均気温	16.2℃ (10.7℃)
・平均降水量	1,414.5mm (794mm)

※ データ引用元は様々なので参考値

目的

- ・高齢者の健康と生きがい就労を
実践している先進地に、生きがい
の場作りと人手不足解消法を学ぶ
- ・その可能性と問題点を探る

視察事項

- ・AFC (エイジフレンドリシティ) とは
- ・就労トライアル参加状況
- ・介護分野から開始、その仕事例
- ・就労の継続状況
- ・他分野の開拓、保育分野など

視察先
日時

兵庫県宝塚市
令和5年8月8日



高齢者就労 小諸市の課題

- ・ 高齢化率**32.97%**（R4年4月1日現在） 要介護認定率**13.3%**（長野県 **17.8%**）
つまり元気な高齢者が多い。
元気な高齢者が生きがいをもって活動できる機会はないか。
- ・ 介護分野、保育分野の人材不足がかなり深刻な問題となっている。
高齢者の就労と、人材不足・・・これをマッチングさせるすべはないか。
新たなニーズの掘り起こしができる仕組みづくりが課題

健康・生きがい就労とは

- ・ 年齢を重ねても生きがいや役割をもって、自分らしく生き生きとくらせる
まち、AFC（エイジフレンドリーシティ）の実現に向け、無理のない
範囲での就労という形で、様々な現場で働く皆さんをサポートする取組

【宝塚モデル】

- ・ 健康だから働くのではなく、
健康の為に働く
- ・ シニアの活動の機会を創る
- ・ 人手不足で困っている介護分野
で開始

【健康・生きがい就労部会】

- ・ 説明会には市民**80名**が参加
- ・ 受け入れ事業所**10**事業
- ・ **53名**がトライアルに参加
↓↓↓↓
- ・ 体験者満足度**89%** 続けたい**96%**

取組・概要

宝塚市の高齢者向け「健康・生きがい就労トライアル」の仕組み



- ・市が募集し、手続きはハローワークが関与
- ・おおむね60～80歳の元気な高齢者が対象
- ・おおむね週2日、1回2時間
- ・希望の曜日や時間帯をヒアリングし、施設と調整
- ・トライアルは3カ月間で非正規雇用
- ・終了後に継続するか選択

※NPO 法人 健康・生きがい就労ラボなどの取材をもとに作成

【高齢者がなぜ動きだしたのか！】

“時間をもっと有効に使いたい！” “人とつながり、回りから必要とされたい！”
“前向きな自分を感じたい！” “何か役割を担い、生活に充実を感じたい！”

参考となった事項・提案等



発案者・キーマンの求心力！

視察当日の講師：遠座俊明さん（おんざ・としあきさん）
介護イノベーターで、「健康・生きがい就労トライアル」
事業を提案者。2021年4月NPO法人を設立。

ボランティアと就労との違い

- ・報酬は張り合い
- ・現役を実感
- ・労働力はWINWIN
- ・消費で経済効果

いきいき人生で四方良し！

- ・高齢者・家族・事業者・行政
- ・注目してもらうには介護以外に働ける分野も開拓することが重要

介護・保育・ICT・教育、等

- ・市民目線の工夫で広げる
- ・チャレンジしたい！
- ・教えることが生きがい

令和5年1月 就労トライアル参加状況

○受け入れ事業所	○応募 39名
介護事業所 6か所	→説明会 34名
放課後デイ 1か所	→現地説明会 23名
保育園 1か所	○就労トライアル 20名

介護施設での様々なケアサポーターの仕事

- ・ホールスタッフ
- ・フロアスタッフ
- ・ファシリテスタッフ
- ・入浴補助
- ・余暇活動
- ・受付

保育サポーターの仕事

- ・見守りサポート
- ・ファシリテスタッフ
- ・レクレーションサポート
- ・キッチンサポート
- ・ホールスタッフ

シニア向けのスマホ初心者講座

- ・デジタル格差解消を支援する講師やチューターを養成した
- ・デジタル庁に認められ、11人が大臣からデジタル推進委員に任命

シニアが社会の支え手にまわる

シニアがシニアを支える、シニアが現役世代を支える

提案

- ・この手法は介護助手、保育助手の確保につながるのではないか。
- ・自治体がやるべきことは、説明会の実施とキーパーソンの発掘。
- ・最終系は「民・民の雇用契約」であるが、仕組みをつくることできれば、元気な高齢者が増える → 将来的に医療費、介護費用を抑えることができる！